

☆緊急事態宣言が解除され、各地でおもちゃ図書館活動も少しずつ再開されています。新型コロナウイルス対策についての問合せや相談も多いので、活動再開にあたっての留意点についてポイントをまとめました。(当面は「貸し出しのみ」の館も多いようです。)

☆開館前に確認しましょう☆

使用する施設の状況、ボランティアの人数、利用者のニーズなど
「自分たちのおもちゃ図書館にできること」を確認しましょう！
「三密」を避け「3S」で。スマイル（明るく）センス（工夫）シナジー（連携）

①開館のルールを設定する、利用する方にわかりやすいよう示す

- ・利用する施設の運営方針に従いましょう。
 - ・ボランティア、利用者ともに「発熱」「風邪症状」など体調のチェックをしましょう。
 - ・参加者の朝の体温測定の結果を確認し、利用にあたり控えておきましょう。
 - ・石鹸による手洗いや、アルコール消毒など必ず行いましょう。
 - ・マスクを着用しましょう。
- ※ただし、乳幼児については危険性が指摘されているので着用には注意しましょう。
- ・利用者名簿を必ず作成しましょう。(氏名、連絡先、その日の体調を記載)

②ソーシャルディスタンスの確保

- ・密集を避けて開催できる「適正な人数」に制限しましょう。
予約制、時間での入れ替えなど対策を。

③消毒の実施

- ・おもちゃはもちろん、複数の人が触れる場所を重点的に消毒液等で消毒しましょう。
 - ・消毒のしにくい形状のおもちゃは使用しないように工夫しましょう。
- ※消毒については別紙参照

④換気の実施

- ・窓を開けることができる会場は、窓を開けましょう。
- ・時間を区切って窓を開け、換気しましょう。

⑤熱中症対策

- ・マスクをしての活動となるので、こまめに水分補給をしましょう。

⑥貸出機能の強化

- ・利用者の人数や時間の制限などがあり、本来のおもちゃ図書館活動が十分に実施できません。これまで以上に「貸し出しおもちゃ」の充実を図りましょう。また、おうちで簡単に楽しむことができる手作りおもちゃの紹介や、手作りおもちゃのセット作成、配布なども良いですね。